

5年の取組

1 教科・ねらい等	国語科	・記事の中から目的や意図に応じて、感じたことや考えたことを持ち、俳句に書く題材を選ぶことができる。
2 主な学習内容	季節に関する新聞記事を探し、その記事内の言葉を季語として俳句を作る。	
3 授業を通しての成果	<p>○回を重ねるごとに、記事を探す力がついてきた。</p> <p>○新聞には、旬の行事、季節の食べ物などがあり、生活に密着した記事があることに気づくことができた。</p> <p>○記事からの言葉を使って、俳句を作ることで語彙が増えた。</p> <p>○郷土に関する記事から、地域の伝統や言葉に対する関心が高まった。</p>	
4 授業を通しての課題・改善策	<p>●記事の中に読めない漢字があり、内容を理解できない子がいる。</p> <p>●作業(切る・貼るなど)に時間がかかり、俳句を考える時間が短くなった。</p>	

1 教科・ねらい等	社会科	・新聞社が情報を集めて、編集し、発行するまでの流れや、報道に関わる人々の工夫や努力について調べ、マスメディアの影響や責任の大きさについてとらえる。
2 主な学習内容	新聞記者を招いて、新聞ができるまでの流れやメディアリテラシーについての話を聞き理解する。	
3 授業を通しての成果	<p>○社会の学習のテレビ局の仕事と比べながら、新聞社の仕事について考えることができた。</p> <p>○新聞記者が情報を伝える時の思いや願いについて、知ることができた。</p>	
4 授業を通しての課題・改善策	●ワークショップで学習を進められると、児童の学習意欲をより高めることができる。	

1 教科・ねらい等	国語科	・見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら、新聞の特徴をとらえることができる。
2 主な学習内容	新聞記者を招いて、新聞の構成(見出し、逆三角形など)を教えてもらう。	
3 授業を通しての成果	<p>○新聞の構成について理解することができた。</p> <p>○自分が新聞作成するとき、見出しや5W1Hを使って書くことができた。</p>	
4 授業を通しての課題・改善策	●事実と意見を分けて書くことができない児童がいた。	